

エンジニアパーク

Engineer *Ring* Park



高松 功 機械部門（産業機械） 勤務先：北興化工機株

TEL (011)661-5274 FAX (011)665-1641 E-mail: takamatu@hokkoweb.com

札幌に住んで早いもので30年が過ぎました。この間、「産業機械」、「化工機械」の設計を中心に仕事をしてきました。具体例として、北海道の地場産業の「甜菜製糖工場」、「馬鈴しょ澱粉製造工場」など農産物加工関連の設備・機械の設計業務が有ります。

ご承知の様に、北海道の農畜産加工品は貿易自由化で苦戦を強いられていますので、必然的にその方面の仕事は減少して来ています。それに代わって近年増加しているのが、「環境」がらみ、例えば「汚染土壌の熱分解キルン」、「シュレッターダスト、廃タイヤの熱分解キルン」、「廃材・廃プラスチック処理」などです。当分はこの分野の仕事が主に成ろうかと思っています。

この様に、社内技術者として活動している状況で、時間制約が多いことが悩みですが、運良く9月の「第31回技術士全国大会」に、参加する事ができました。「機械部会」も予定より参加者が多く、私にとっても良い勉強の機会になりました。専門が「産業機械」と言っても、自分の知識はほんの一部分に過ぎない事を実感しつつ、「勉強だ」・「CPD」も頑張らなくちゃ、と「移動大学講座 TCE」の、月1回の勉強会に参加しています。

会社員リタイア後も視野に入れつつ技術士として「社会貢献」は難しいけれど、自分として「何ができるか、何かできないか」模索中です。



次号は、中村一也さん（機械部門）



長谷川 修 水道部門（下水道計画） 勤務先：日本上下水道設計(株)函館出張所

TEL (0138)32-7332 FAX (0138)32-7270

下水道業界の末席に加えて頂き早30数年、内札幌勤務20年、函館勤務も10年を過ぎようとしています。函館転勤当初は子供の学校の事などより単身赴任をしていましたが、それが解消した現在も依然単身生活を続行中で、いまは炊事・洗濯も適当にこなすようになりました。しかし、掃除だけはどうしてもやる気がおきず1カ月位ほっておくこともしばしばです。（女房に知られるとまずい）

私が入社した頃の北海道内での下水道整備はその殆どが「市」クラスで、「町村」での着手はまだまだの状況だったと思います。しかしその後、環境対策や水洗化の住民要望をうけ着々と整備が進み、平成15年度末の北海道内の下水道整備率は85.8%となり全国でも第5位の高水準となっています。私はこの下水道整備の繁忙期に設計を行っていたこともあり、日曜・祝日返上は当たり前、徹夜もまた楽しからずやで業務処理を行っていて、「設計屋」は先ず第一に体力が勝負ということをも身をもって教えられました。いまは健康管理のためお腹を突き出しながら函館山の散歩を楽しんでおります。しかし、最近の設計はやはり体力勝負もさることながら、知（専門知識等）がより重要さを増していることは自明の理で日々の努力がより重要となっています。私が所属させて頂いている道南技術士会は勉強会等を活発に行っていて、これらに出席することも私自身の怠惰心に鞭打つことになっているように思っております。今後も知・体を維持・充実させ頑張らなければと思う昨今です。



次号は、福田厚武さん（水道部門）